

EV用新規電波暗室「eチャンバー」の開発・販売のお知らせ

2022年6月8日
株式会社リケン

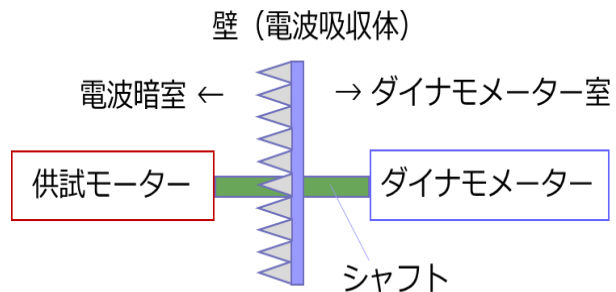
株式会社リケン（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：前川泰則）は、電子機器から発生する電磁波を正確に測定するための電波暗室をはじめとする EMC*関連事業を関係会社の株式会社リケン環境システム（以下「リケン環境システム」）にて営んでおります。この度、リケン環境システムは、EV用新規電波暗室「eチャンバー」を開発、販売開始いたしましたのでお知らせいたします。

eチャンバーは、電気自動車（EV）やハイブリッド車両（HV）に搭載される部品で最も重要な「モーター」や「インバーター」の EMC 評価を行うために特殊な仕様を持たせた電波暗室です。供試するモーターにつき、シャフトを介してダイナモメーターと接続することで、モーターに様々な実負荷を与えた状態で EMC 計測を実施することができ、あらゆる駆動条件に於けるモーターやインバーターの EMC 評価を可能とする点が大きな特徴です。リケン環境システムは、業界に先駆け 2000 年代初頭から次世代自動車評価用電波暗室の開発に取り組んでまいりました。今回、電波暗室の壁面を貫通するシャフトに独自開発した特殊技術を用いることにより、従来「モーター」や「インバーター」に係る EMC 評価の正確性を著しく損ねていた、シャフトを伝って電波暗室内に入り込むダイナモメーター由来のノイズや外来ノイズを大幅に低減する事に成功し、これまでより大幅に信頼性を高めたEV用電波暗室を開発いたしました。今度販売を開始した e チャンバーの仕様は最大回転数 12,000rpm、定格出力 170kW を誇ります。今後すみやかに、20,000rpm、250kW まで耐え得る仕様の e チャンバーをラインナップに加えていく予定です。

世界的なカーボンニュートラルの潮流を受け、各国が EV などの電動車普及政策を進め、自動車の脱炭素化がグローバルに加速しています。EV に使われる「モーター」や「インバーター」から放射される電波ノイズは、国際規格である CISPR25 により一定の規制値が定められており、今後の EV 開発に私どもの開発した e チャンバーは欠かせない設備となります。今後、国内だけでなく、中国など海外にも販売を広げ、自動車の電動化によるグローバルなカーボンニュートラルの実現に貢献してまいります。



e チャンバー（電波暗室部）



eチャンバーの概要

※EMC とは **E**lectromagnetic **C**ompatibility の略で、電磁両立性とも呼ばれます。

【本件のお問い合わせ先】

- ・製品・お取引に関して：株式会社リケン環境システム EMC 事業部（048-526-3470）
- ・マスコミ、IR、その他に関して：株式会社 リケン 経営企画部（03-3230-3911）